

ウドの弱休眠性品種における栽培及び品種識別技術の開発

【背景と目的】

東京特産ウドで弱休眠性の新品種が育成されつつある。そこで新品種に適した栽培技術の確立と、新品種保護のための品種識別マーカーの開発を行う。

【研究概要】

（１）新品種の特性把握と栽培マニュアルの作成

- ① 新品種について、根株の堀上げ時期と休眠性、軟化茎の品質、根株の貯蔵性の関係を明らかにする。
- ② 年内採りに加えて３月収穫までの品質・収量性を調査し、さらに適合性のある作型を明らかにする。
- ③ 栽培マニュアルを作成し、現地実証試験で確認する。

（２）品種識別マーカーの開発

- ① 近年の国内ウド生産状況や品種構成を調査し、主要品種を遺伝資源として収集する。
- ② ゲノム解析により新品種と主要な既存品種との識別が可能なDNAマーカーを開発する。